

喜び人生の門出にもっともふさわしい言葉は、「私たちは肉ではありません。私たちは意識です。」ということです。

私たちは永遠に存在する命、エネルギーです。その存在は波動として私たちの心でしか感知することは出来ません。目には見えません。五官で知覚することは不可能です。ただ自分の発した波動は必ず現象化します。自分が使った心、思いは自分に間違いなく帰ってきます。

意識を突とすれば、五官で知覚できるものはすべて虚、影ということになりましょう。しかし、影によってやがて真実が分かってくるようになってきます。影から私たちが愛の中に生かされているということを知るようになるのです。つまり、影も愛だということです。少々堅い言葉になりますが、意識即現象、現象即意識、そして、意識は愛、現象・影も愛ということです。意識の転回、心の転回というのはこのことを覚るとのことです。この真実に目覚め、真実一路に生き、そして、死を迎えていくのが本当の人生、喜び人生ということになります。

道標を無視し、小便をかけ、唾を吐きかけ、足でけ飛ばして来た方々でもいいのです。本日ただ今から、肉の田池留吉に心を向けたとき田池留吉から発せられている波動があなた方の心で感知していけるように、反省と瞑想、そして、現象参加を真剣に始めてください。田池留吉の波動が分かってこることがこの学びのスタートであり、喜び人生の原点です。

田池留吉の波動が分かってくれば、タイケトメキチも田池留吉もあなた方もなくなってくるでしょう。まさに、私はあなた、あなたは私ということになってくるのです。その世界はただただ喜びで、暖かくて、優しくて、何も要らない幸せな世界でしょう。光、愛、法、道の世界です。お母さんの温もりに包まれ、ただただ喜び喜んでる自分に出会える世界です。

「人生行路は難し」といわれています。現実はそうでしょうが、人間の本质は意識だということが分かってくると、それまで持っていた人生観や人生哲学といったものは大きく変わってくるだろうと思います。私は全く変わりました。

人々の多くは生まれてくること、年を取って老いること、身体や心が病むこと、そして死を迎えることは苦しみだと思っています。そして、それらの苦しみから逃れるため並々ならぬ努力をしてきましたが、果たして、癒されたでしょうか、救われたでしょうか。今の私は、生まれてくることも、老いることも、病むことも、そして死んでいくことも喜びとして受け容れられるようになってきました。不安とか、寂びしさとか、恐怖とかいったものはほとんどなくなってきているようです。生かされて生きていることが喜びで、「ごめんなさい、ありがとう、嬉しいです」と肉の思いを出来るだけ5パーセント前後にコ

ントロールしながら我が人生を楽しんでもおります。

目覚めれば人生というものは喜びでした。人間万歳、人間みんなみんな喜びでした。人生、無駄なものは一つもありません。「すべてよし」の人生、これこそが人生そのものだと言えましょう。

何度も何度も言ってきましたが、もう苦しむのは止めにしていきましょう。せっかく肉体を頂き、こうして多くの友と巡り会えたのです。会い難き友にやっと会えたのです。どうか道標が指し示している道を共に進んでいってください。この道は間違いのない真実の道です。信じてください。信じて本道を進んでいかれれるようなあなたになってください。待っています。